

第 25 回 『稲刈りとはざかけ』

と き 2013 年 9 月 28 日 (土) 9:30 - 17:30

と ころ 谷っ戸ん田

天 気 快晴

参加者 さとやまレンジャーズ (総勢 10 名)、片倉さん他 3 名

石田・ヒデ、霧生、久保、佐々木 (利)・優、高田 (直)、藤田 (午前)、藤平・夕、園主
計 24 名 (子ども 3 人含む)

【午前】

- ・秋晴れのなか、コシヒカリの稲刈り。昨年よりも 10 日近く遅い稲刈りだが、田植え自体が一週間程遅かったので問題はないだろう。台風で倒れた稲もなく黄金色に輝く田んぼは美しかった。
- ・「さとやまレンジャーズ」の方 10 人と、隊長の知人が若者 3 人と一緒に作業のお手伝いに来てくださっており心強い。
- ・作業小屋から鎌と麻紐、ロッカーから糸巻を出して準備。
- ・鳥除けの糸と支柱を回収し、田んぼの四隅と畔の近くの稲の手刈りを始めたところで、園主が登場。バインダー 3 台が入り、交代で使わせていただく。
- ・稲刈りは初めての方が多かったそうだが、みな上手にバインダーで稲を刈っていった。が、途中、1 台が結束をしなくなり、原因不明のまま動かなくなってしまった。
- ・男性陣がはざかけ用のポニーの支柱とポールを田んぼに運搬。
- ・稲が 1/3 くらい残っている状態で、12 時頃に午前の部を終了。

【昼休み】

- ・各自、昼食。
- ・藤平さんが子ども達の為に、ガスコンロでお昼にポップコーン、おやつに焼マショマロを作ってくれた。
- ・横浜の谷戸のよさや、初めての稲刈りが楽しかったとの嬉しいコメントを残し、レンジャーズの方 4 人が帰宅。

【午後】

- ・午前中の続きの稲刈りをすませ、ポニーを 4 列東西に組み立てて稲を干した。
- ・隊長から新しく「はざかけ」の仕方を教えていただいた。…結束した稲の茎の太さが 7 : 3 になるように分けて、手前になる茎の向きが交互になるようにかけていく。(細いほうの束の上に、次は太い束が乗っておさえるような感じです)
- ・ほぼ目途がついた 15 時頃に、お一人を残してレンジャーズは解散。
- ・16 時半頃には、干した稲の周りに支柱をたてて鳥除けの糸はり作業を終了。残った数人で鎌やバインダーの泥を洗い流して解散した。
- ・お手伝いをいただいた皆様、有難うございました。

(記録：霧生)